



スイス再保険会社 2008 年通期の業績見込みを発表 ウォーレン・バフェット氏がパークシャー・ハザウェイ社を通じ スイス・リーに 30 億スイス・フランを出資

Contact:

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Corporate Communications, London
Telephone +44 20 7933 3445

Corporate Communications, Asia
Telephone +852 2582 3660

Corporate Communications, New York
Telephone +1 212 317 5663

Investor Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Reinsurance Company Ltd
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

チューリッヒ、2009 年 2 月 5 日 – スイス再保険会社(以下、スイス・リー)は、本日、2008 年通期の決算が約 10 億スイス・フランの損失となる見込みであることを発表しました。2008 年 12 月 31 日の時点での株主資本は、190 億から 200 億スイス・フランとみえています。スイス・リーは、資本増強の措置として、現在進めている投資ポートフォリオのリスク削減に加え、株主の承認を前提として、パークシャー・ハザウェイ社から、30 億スイス・フランの資本を調達します。また、市場状況に鑑み、さらに 20 億スイス・フランの株主資本の調達を検討する予定です。

スイス・リーの最高経営責任者、ジャック・エイグレインは、次のように述べています。「2008 年の業績には失望していますが、主要事業である損害保険と生命・医療保険は堅調に推移しています。当社は、顧客からの継続的な信頼を確保すべく資本力維持のためのさまざまな措置を講じてきましたが、今後も堅実な経営を行っていく所存です。ウォーレン・バフェット氏がスイス・リーへの投資に同意したことは、当社の強固な事業基盤を示すものです」

今回発表した最終決算発表前の速報で、スイス・リーは 2008 年通期の損失額を約 10 億スイス・フランと予想しています。グループの保険引受実績は好調だったものの、主として投資ポートフォリオの評価損と時価評価によって生じる投資損失により相殺される形となりました。但し、これらの損失の一部は、グループのヘッジング・プログラムにより相殺されました。

株主資本は、190 億スイス・フランから 200 億スイス・フランとなる見込みです。2008 年第 4 四半期の株主資本の減少は、主に投資資産の含み損と為替レートの変動によるものです。

営業業績は、顧客ニーズに焦点を置き、厳正な引受を行うことにより堅調に推移

スイス・リーの厳正な引受基準は、再保険ソリューションの需要の増加に応える強固な基盤を提供しています。

引き続き好調な損害保険業績を計上し、2008年通期のコンバインド・レシオを97.4%（割引控除を除くと95.6%）と試算しています。

生命・医療保険事業の業績は、クレーム・レシオ85.5%と引き続き好調です。

再保険ソリューションに対する需要の伸び

多くの顧客が自らの資本のき損に対応するプロテクションを求めていることから、再保険の需要は拡大してきました。スイス・リーでは、外国為替レートに変動がなければ、料率は約2%の伸びを示し、引受保険料は6%前後の伸びになると予測しています。再保険料のサイクルが硬化するなか、スイス・リーは顧客への効果的なソリューションの提供を行う上で優位性を維持しています。

フィナンシャル・マーケッツ事業を解体し、アセット・マネジメント部門を再編

当社は、リスク削減の一環として、フィナンシャル・マーケッツ事業を解体し、2つの部門に再編しました。

アセット・マネジメント部門は、(再)保険を通して発生した資産の管理を行い、プロダクト・アンダーライティングおよびクライアントマーケット部門とリンクして保険関連ソリューションを顧客に提供します。アセット・マネジメントのUS GAAPに基づく投資リターンは約5%、一方トータル・リターンは若干のプラスになると予測しています。

レガシー部門には、ストラクチャード・クレジット・デフォルト・スワップ(SCDS)、ポートフォリオ・クレジット・デフォルト・スワップ、財務保証再保険、そしてフィナンシャル・マーケッツの旧トレーディング事業などが含まれます。但し、現在スイス・リーではこれらの商品を提供していません。これら事業の通期の評価損として、SCDSの評価損失20億スイス・フランを含む約60億スイス・フランを計上しました。

バランスシート強化のための資本増強

バークシャー・ハザウェイからの30億スイス・フランの資金調達をはじめとする資本基盤の強化対策により、スイス・リーは顧客への事業機会を確実に捉えるために財務的な柔軟性を確保します。

スイス・リーは、法的規制上は十分な自己資本の剰余金を有していますが、2008年12月31日の時点で、現在の格付け「AA」を維持するための水準を15億から20億スイス・フラン下回る見込みです。取締役会では、強固な資本レベルを再度確立することが最重要事項と位置づけています。現時点では、調達可能な資本総額は最高で50億スイス・フランと試算しています。この取り組みの一環として、スイス・リーとパークシャー・ハザウェイは、パークシャー・ハザウェイがスイス・リーに対して30億スイス・フランを出資することを大筋で合意しました。出資の最終的な決定には、株主の承認が必要ですが、12%のクーポンでスイス・リーが発行する転換型無期資本証券(convertible perpetual capital instrument)の形での出資となる予定です。パークシャー・ハザウェイが希望すれば、3年後に1株当たり25スイス・フラン(希薄化防止調整後)でスイス・リーの株式に転換することができます。

ウォーレン・バフェット氏は、以下のとおり述べています。「スイス・リーへの出資を増加する機会を得ることができ嬉しく思います。ジャック・エイグレイン氏および経営陣には大変感銘を受けています」

スイス・リーは、顧客への事業機会と株主のために強固な資本基盤の管理に注力するとともに、市場状況に鑑み、株主総会において、最高20億スイス・フランまでの株主割当増資の承認を求める意向です。さらに2008年の配当を最低限まで減額することを提案します。

スイス・リーは、監督当局の承認が得られれば、グループの損害保険事業の支払備金におけるアドバース・ディベロップメント・カバーを、パークシャー・ハザウェイと締結することに同意しました。契約では補填範囲の総計は、50億スイス・フランとなります。

質の高いクライアント・ソリューション提供のための取り組み

スイス・リーの(再)保険事業は強固であり、今後パークシャー・ハザウェイからの出資、追加増資、配当の減額、投資ポートフォリオ内の大幅なリスクの削減などの措置を含むさまざまな取り組みにより、質の高いクライアント・ソリューションを提供していきます。

なお、今回の発表は監査前の概算に基づく速報であり、今後変更される可能性があります。スイス・リーは2008年通期の最終業績を2009年2月19日に発表する予定です。

スイス再保険会社について

スイス再保険会社(略称「スイス・リー」)は、世界をリードする再保険会社です。当社は世界 25 カ国以上で事業拠点を展開しています。1863 年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にする金融商品を提供しています。伝統的な再保険商品と損害および生命・医療保険関連サービスは、包括的なリスク管理のための保険をベースにしたコーポレート・ファイナンス・ソリューションとその付加サービスによって補完されています。スイス・リーはスタンダー&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa2」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。